



広島市教育センター 「中・高等学校理科授業づくり研修」より

- ◆ 1 ページ
 - ・ 研修紹介 (中・高等学校理科授業づくり研修)
 - ・ 学校紹介(矢野幼稚園)
- ◆ 2 ページ
 - ・ 授業づくりシリーズ 学ぶ意欲が高まる授業を目指して (小学校社会科編)
 - ・ 教育センター情報 「土曜開館」

研修紹介 主体的・対話的な学びに必要な6つの要素

中・高等学校 理科授業づくり研修

5月24日に広島大学 木下博義 准教授をお迎えし、「中・高等学校理科授業づくり研修」を実施しました。木下先生からは、主体的・対話的な学びとなるためには、**6つの要素(問題意識、知識・技能、捉え方・考え方、メタ認知、合意形成能力、批判的思考力)**を授業に取り入れることが効果的であると教えていただきました。

次回の研修では、具体的な授業場面を紹介していただく予定です。

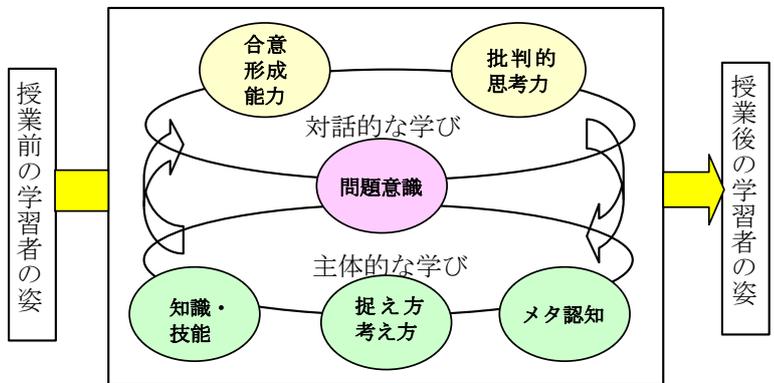
主体的・対話的な学びに必要な6つの要素

学習者が授業を通して成長するためには、主体的・対話的な学びが必要となります。

対話的な学びの要素としては、理にかなった合意を図るための「**合意形成能力**」、建設的な吟味をするための「**批判的思考力**」があります。

主体的な学びの要素としては、考えるために必要な「**知識・技能**」、考えるための思考スキルとしての「**捉え方・考え方**」、客観的に自分の学びを振り返るための「**メタ認知**」があります。

それらをつなぐ要素として「**問題意識**」(学びの必要性)があります。



学校紹介 地域の教育力を活かした豊かな体験

矢野幼稚園

市立幼稚園では、各園の特色を活かしながら、友達や先生と楽しく遊ぶ中で豊かな心や思いやりなどの心情、物や人に積極的にかかわっていきこうとする意欲や態度を育てています。

今回紹介する矢野幼稚園では、園児が地域の方に支えられ、**畑づくり・栽培、収穫、会食**などの体験を積み重ねています。特に、矢野特産の**七福いも**は、**JA矢野支店から苗を提供していただき**、園児が地域の方と一緒に苗を植え、一苗ずつ大切に育てています。園では、このような地域の教育力を活かし、**豊かな体験**が得られるような環境づくりに取り組んでいます。

畑づくり・栽培

収穫

会食

矢野特産の七福いもの苗はJAの方が持ってきてくださいました。地域の方が畑の先生となって、他にもミニトマトや、ジャガイモ、玉ねぎなどを育てています。



苗をもってきたよ。

ありがとう!



たっぷりお水をあげなくちゃ。

地域の方に収穫のこつを教えてくださいいただき、一緒に収穫しています。



たくさんとれたよ!

小さいおいもも、全部ほろうね。



収穫した野菜はその場で味わったり、持ち帰って家族と食べたり、地域の人と一緒にカレー会を開いて楽しく会食したりしています。



玉ねぎの皮むき、楽しいね。



みんなで食べるとおいしいね。

～子どもの心に
火をつける～



学ぶ意欲が高まる授業を目指して

子どもたちの「学ぶ意欲」を高めるためには、学習過程の中の「導入場面」「課題認識場面」「課題解決場面」「振り返り場面」の中で、子どもが主体的になれる活動を仕組むことが重要です。
今回は、「課題認識場面」に視点を当てて、課題解決への意欲を高めるために、予想する活動に重点を置いた小学校社会科の事例を紹介します。

課題認識場面

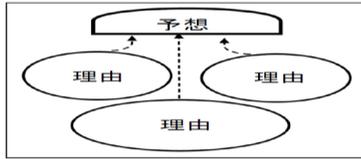
予想の充実で問題解決への意欲向上

小学校社会科編

学習に主体的に取り組むためには、導入場面や課題認識場面において、「なぜだろう」と疑問をもったり、「きっとこうだろう」と予想したり、「これを調べたら分かりそうだ」と見通しをもったりすることが大切です。

社会科では、問題解決的な学習の中で、学習問題を設定した後、すぐに調べ活動をする、子どもたちの問題解決への意欲が高まる前に、教師主導で調べ活動が進んでしまいがちになります。しかし、学習問題設定後、**予想する活動**にしっかり取り組ませ、「本当の所はどうか。自分の予想どおりなのか。」という**問題解決への意欲**を高めることで、子ども主体の調べ活動に移行しやすくなります。今回は、その**予想する活動**に、思考ツールを活用して問題解決への意欲を高めた実践例を紹介します。

小学校第6学年
「世界に歩み出した日本」
牛田小学校
矢本 学 教諭の実践より



【本実践で使用した思考ツール】
※予想を立て、理由を複数考える。

導入

問題提起

1800年代後半、国際的地位が低かった日本 → 1911年不平等条約を改正することができた。

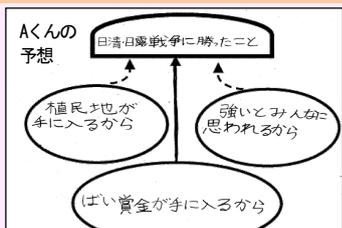
学習問題

日本はどのようにして、世界の国々から認められたのだろうか。

予想する活動

課題認識

①思考ツールを活用して個人で予想



Aくんは、日清・日露戦争で勝ったことで「認められた」と考え、理由として、植民地や賠償金など土地やお金が入ること、認められたと予想。

視覚化し整理しやすくする

②全体で交流

A: ぼくは、戦争で勝ったことで認められたと思います。理由はいろいろなものが手に入ったからです。

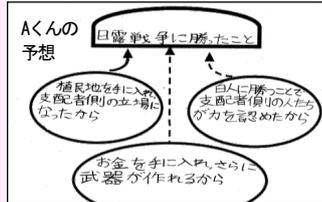
B: ぼくも戦争が影響していると思うけど、日清戦争と日露戦争では、同じ勝ったでも、意味が違うのかなと思います。

C: 私は、戦争で勝っただけでは、恐れられるだけなので、「認められる」ためには、その後の工業の発達などが関係しているのではないかなという気がしています。



様々な視点を得るために話し合う

③思考ツールを活用して個人で予想の再考



交流の後、Aくんは2つの戦争の中でも、日露戦争に勝ったことがより重要で、ロシアに勝ったことで、国際社会での立場が変わったのではないかと、自分の予想へのこだわりを強めた。

予想へのこだわりを強めさせる

本当のところはどうか。予想したとおりなのか調べてみよう。

各時間の主体的な課題解決へ

おしらせ

教育センターはみなさんの自主研修をサポートします

土曜特別セミナー（1）

作ってみよう自立課題教材

「自立課題」とは、子どもたちが、意味ややり方を自分で理解し、人の指示や手伝いを受けないで一人で行える課題のことです。

平成29年7月8日（土）
9：30～12：00
講師 本市専門家チーム委員
古田 壽子 先生

[詳しくはこちら](#)

土曜特別セミナー（2）

小学校音楽科における表現指導の工夫
—音楽づくり活動を通して学ぶ楽器—

表現指導のポイントについて音遊びや音楽づくり活動の実技を通して学びます。

平成29年7月8日（土）
13：00～16：00
講師 広島大学大学院
寺内 大輔 准教授

[詳しくはこちら](#)

教育実践サポート

月1回の土曜開館の際に、指導主事に直接相談することができます。事前に予約することもできますので、ぜひ活用してください。

7月担当	担当業務
木原 和子	算数科、道徳等
西田 由香	特別支援教育等
濱本 英一	数学科、ICT、道徳等